

令和7年度 自動車関連企業開発人材育成塾

自動運転や電動車両などの新しい技術の理解・習得、ソフト開発スキルの向上、及び持続可能性と環境への配慮などが当たり前になりつつある自動車業界の中で、県内企業においては、新たな技術、製品等をメーカーに提案するための技術力・開発力向上が、より重要になっています。

そこで、本研修では開発設計の基本を再認識すると共に、新技術の導入や新製品等の開発・企画ができる人材になれる様、塾形式の計画的なカリキュラムを通し、企画アイデアとロードマップ、先行開発、量産設計、設計VE、デザインレビューなどを学び、構想設計にも挑戦します。

■対象者：県内の自動車産業に従事する中堅社員
(入社5～10年目程度)

※原則、全ての研修にご参加いただけます。



定 員：10名程度

受講料：6,600円(税込)/名

※別途、実費負担有

申込〆切：令和7年8月1日(金)

17:00まで

申込方法：ホームページ 又はQRコードによるお申込み
https://www.optic.or.jp/event/event_detail/index/4921.html



全 日 程

		テ ー マ	日 程	場 所
座学研修	第1回	開発すべきものを見極める ～企画アイデアとロードマップ～	令和7年 8月29日(金) 10:00～16:00	テクノサポート岡山
	第2回	優位性を確保する“先行開発”と お客様の信頼を得る“量産設計”	令和7年 9月30日(火) 10:00～16:00	
	第3回	機能とコストの対比により最適な価値の確保を目指す設計VE	令和7年10月20日(月) 10:00～16:00	
	第4回	開発設計のアウトプットを高める“デザインレビュー”と 課題解決に役立つ“なぜなぜ分析”	令和7年12月2日(火) 10:00～16:00	
	第5回	FTA・FMEAの基礎	令和8年 1月15日(木) 10:00～16:00	
	第6回	研修まとめ ～構想設計を経験する～	令和8年 2月18日(水) 10:00～16:00	
実地研修	第1回	他社の新製品開発事例を通し 新規開発要領を習得する	令和7年 9月19日(金) 10:00～16:00	(株)イトーキ (滋賀県)
	第2回	自動車生産ラインを見て 生産現場の改善活動を理解する	令和7年11月18日(火) 13:00～17:00	三菱自動車工業(株) (岡山県)
	第3回	“X線CTによる内部計測”や “赤外線照射による微小物の測定”を体験する	令和7年12月18日(木) 10:00～16:30	(株)島津製作所 (京都府)

※研修日程については 変更になる可能性があります。

座学研修

第1回 ▶ 開発すべきものを見極める ～企画アイデアとロードマップ～

令和7年
8月29日(金)

1. はじめに
2. 新企画アイデアの発想
3. アイデアを企画書にまとめる
4. 未来と繋ぐロードマップ
5. グループ討議・質疑

第2回 ▶ 優位性を確保する“先行開発”とお客様の信頼を得る“量産設計”

令和7年
9月30日(火)

1. はじめに
2. 設計の大きな流れ
3. 先行開発段階の設計力
4. 特許
5. 量産設計段階の設計力
6. 設計力を伸ばす
7. グループ討議・質疑

第3回 ▶ 機能とコストの対比により最適な価値の確保を目指す設計VE

令和7年
10月20日(月)

1. VE活動の背景
2. 原価管理の活動
3. 原価計算の進め方
4. VE手法の進め方
5. VEの具体的な展開
6. VEによる機能向上事例
7. グループ討議・質疑

第4回 ▶ 開発設計のアウトプットを高める“デザインレビュー”と課題解決に役立つ“なぜなぜ分析”

令和7年
12月2日(火)

1. デザインレビューの役割
2. 設計プロセスに組み込まれたデザインレビューの位置づけ
3. デザインレビューの実施要領
4. なぜなぜ分析の狙い
5. なぜなぜ分析の進め方
6. グループ討議・質疑

第5回 ▶ FTA・FMEAの基礎

令和8年
1月15日(木)

1. FTAの狙いと進め方
2. FTA事例
3. 個人演習
4. FMEAの狙いと進め方
5. FMEA事例
6. 事例集の重要性
7. 個人演習
8. グループ討議・質疑

第6回 ▶ 研修まとめ ～構想設計を経験する～

令和8年
2月18日(水)

1. はじめに
2. ケーススタディ
3. グループ演習を通して構想設計を経験する
4. 発表・まとめ・講師講評
5. 修了証書授与

実地研修

第1回 他社の新製品開発事例を通し 新規開発要領を習得する

令和7年
9月19日(金)

～ 新製品を開発するために必要なアイデアの企画立案や手法について 事例を通して学ぶ ～

見学先

株式会社イトーキ 滋賀工場 *1
(滋賀県近江八幡市上田町7-2)

内容

- ①会社紹介、工場・センター概要説明
- ②研究開発業務・事例について
- ③事務所・試験場・生産工場など見学
- ④質疑応答



*1 (株)イトーキ 滋賀工場…「キャビネット」「ワゴン」「チェア」の生産を担う、3つの生産工場、パーツを組み合わせて出荷するAPセンター、及び完成製品の保管・出荷を行う滋賀ロジスティクスセンターを敷地面積・約10万㎡に展開し、様々な素材や形状・技術要素のバリエーションから構成される商品のコストを抑えながら柔軟に生産・供給できる体制を整えています。

第2回 自動車生産ラインを見て 生産現場の改善活動を理解する

令和7年
11月18日(火)

～ 実際の生産工程を製造工程に沿って確認し「品質向上・コスト低減・納期短縮の現場改善活動」を学ぶ ～

見学先

三菱自動車工業株式会社 水島製作所 *2
(岡山県倉敷市水島海岸通1丁目1番地)

内容

- ①会社紹介、生産工程・ラインレイアウト等説明
- ②工場見学
(プレス → 溶組 → 組立 → 検査 → EVバッテリーAssy)
- ③現場改善(主にかんがい改善)の取組みについて
- ④質疑応答



*2 三菱自動車工業(株)水島製作所…環境性能に優れた100%電気で走る軽自動車を含む様々な車種を生産しています。プレスから最終組立までの車作りの全行程作業が行われており、エンジン組立や鍛造・鍛造加工なども含んだ世界でも希有の一貫生産工場です。また、各種条件を加味して生産する順番を決める計画序列により電気自動車もガソリン車も同一ラインで生産しています。

第3回 “X線CTによる内部計測”や“赤外線照射による微小物の測定”を体験する

令和7年
12月18日(木)

～ 部品内部に潜む品質不良などを判定するための手法と製品品質の向上技術を学ぶ ～

見学先

株式会社島津製作所 *3 京都本社
(京都府京都市中京区西ノ京桑原町1番地)

内容

- ①座学研修 (X線とは何か、CTの原理原則、赤外顕微鏡の原理、AIMSightを用いた測定について)
- ②グループに分かれて実機研修 (SMX-225CT、AIMSight)
- ③サイエンスブラザ、SCOEラボツアー等見学



*3 (株)島津製作所…「人の健康」「安心・安全な社会」「産業の発展」の事業領域で、分析機器、計測機器、医用機器、産業機器を取り扱っている。最先端の分析技術で、研究開発・品質管理に貢献し、また精度の高い試験計測技術で産業分野のモノづくりを製品検査や品質管理の面からサポートを行っている企業です。

< R6年度 研修生集合写真 >

【実地研修】

- R6.12.04. (株)島津製作所 京都本社
R6.12.19. 三菱自動車工業(株) 水島製作所
R7.01.22. (株)浜野製作所 東京本社 ガレージミダ

【座学研修】

- R7.02.06 研修修了式



■ 座学研修講師

株式会社ワールドテック

【研修1担当】

(株)ワールドテック講師

佐藤 進 氏

日本電装(株)-現(株)デンソーに入社。
デバイス事業部の開発部門において多くの半導体開発に従事。
また、企画部門で新デバイス開発構想や事業企画を担当。
04年～09年には「一般社団法人ナノテクノロジービジネス推進協議会（NBCI）」に
出向。
その折、ロードマップ策定委員会事務局に選任され幅広くロードマップに関与。

【略歴】

1971年 日本デンソー(株) (現(株)デンソー)入社
IC研究室
1973年 (株)日本自動車部品総合研究所出向
電子デバイス・センサーの研究開発
1993年 デバイス事業部 LSIプロセス開発
1998年 デバイス事業部 技術企画
新デバイス長期構想 事業企画
2004年 (株)ナノテクノロジービジネス推進
協議会出向
ロードマップ委員会事務局
2012年 (株)ワールドテック入社
現在に至る



株式会社ワールドテック

【研修3 前半担当】

(株)ワールドテック講師

谷川 昌隆 氏

日本電装(株)-現(株)デンソーに入社。
製品原価計算・見積り業務、海外事業の企画（事業性検討）、営業企画（販売
戦略）に従事。
また、海外出向（原価の企画・管理、経理、購買統括）の経験があります。

【略歴】

1980年 日本電装(株)-現(株)デンソーに入社
東南アジア地域生産拠点の設立や業績・原価管理などに従事
1990年 台湾電装に出向、購買・情報システム部門の統括業務に従事
1993年 帰国後、欧州地域事業所の設立とその業績
管理などに従事
2002年 中国重慶電装に出向
原価の企画・管理、経理、購買部門を統括
2006年 帰国後、製品販売戦略の立案、原価積上げ
など 事業性検討業務に従事
2011年 製品原価計算、見積り、原価企画・管理に
従事
2018年 (株)ワールドテックに入社
現在に至る



株式会社ワールドテック

【研修6 担当】

(株)ワールドテック講師

齋藤 隆重 氏

日本電装(株)-現(株)デンソーに入社。女子バレー部（現エアリービーズ）コーチに従事、
Vリーグ活躍の基盤を構築。その後、材料・生産技術開発の要素技術開発を担当。
発電機の絶縁・巻線の開発と現地調達材の開発に従事。圧力、加速度、電流などの
導体センサの開発、同時に、部内設計品質確保の仕組み構築と人材育成に従事。

【略歴】

1980年 日本電装(株)-現(株)デンソーに入社
1984年 始動機、発電機の絶縁・接着処理・巻線の開発に従事
海外生産に備え欧米の現地調達材料の開発に従事
1998年 圧力センサ、加速度センサ、電流センサ、
流量センサなどの開発に従事
2003年 部内製品開発の品質確保と仕組み確立、
人材育成に従事
2017年 「人と組織の成長」を目的とする社内研修
講師に従事
2020年 ビズ・アシスト・エンジェル設立し複業開始
マネジメント・技術研修講師として組織変革、
人材育成に従事
2023年 デンソーを退社、ビズ・アシスト・エンジェル
専業として従事
2024年 愛知工業大学非常勤講師、(独) 中小機構経営支援アドバイザー



株式会社ワールドテック

【研修2・4担当】

(株)ワールドテック技術担当部長、講師

山田 悦史 氏

日本電装(株)-現(株)デンソーに入社。
長年開発設計部門に在籍し、幾多の新規自動車アクチュエーターの構想設計・詳細設
計から量産立ち上げまでを経験し、製品コンセプト構築、品質の確保をはじめとする製品
開発設計マネジメントに通じている。
又、ソレノイド、バルブ、ギヤ、モーター、流体ポンプ、半導体圧力センサ等の各種要素技
術や、各種金属・樹脂材料の物性について豊富な知見を有している。

【略歴】

1973年 日本デンソー(株) (現(株)デンソー)入社
1973年 生産技術部 生産技術研究
1978年 機能品技術部 開発設計
2007年 富士通デン(株)(現デンソーデン)
機構部品統括
2010年 天津富士通デン精密電子(中国天津市)
総経理
2015年 (株)デンソーデン 後進の育成
2018年 ワールドテック入社
現在に至る



株式会社ワールドテック

【研修3 後半・5 担当】

(株)ワールドテック講師

芳野 保久 氏

日本電装(株)-現(株)デンソーに入社。
特殊計測器やADAS（先進運転支援システム）関連機器の開発に従事。
US出向し、現地ベンチャー企業との共同開発等に従事。
帰国後、カーナビ開発および品質保証業務やドライブレコーダの品質保証業務に従事。

【略歴】

1977年 日本電装(株)-現(株)デンソーに入社
同年、日本自動車部品総合研究所出向
デンソー研究開発部に帰任 ABS、超音波距離計などの開発に従事
1985年 USテクニカルセンターに出向し、現地ベンチャー
企業との共同開発やITS関連技術動向調査に
従事
1995年 帰国後海外自動車メカ向けカーナビの開発・
設計に従事
2003年 海外向けカーナビ全般の品質保証業務に従事
2013年 市販ドライブレコーダの品質保証業務に従事
2018年 (株)ワールドテックに入社
現在に至る



注意事項

- (1) 原則、全ての研修に参加する者に限ります。
- (2) 実地研修については、日程など変更となる可能性があります。
詳細スケジュールにつきましては、申込者へ別途ご連絡いたします。
- (3) 実地研修は、原則現地集合・解散となりますので、実費が発生致
します。
- (4) 別途案内を予定している令和7年度EV構造研究活動への参加も
推奨しております。

お問合せ先

〒701-1221
岡山市北区芳賀5301 テクノサポート岡山 3 階
公益財団法人岡山県産業振興財団
ものづくり支援部 研究開発支援課 担当：田口、赤木
TEL 086-286-9651 FAX 086-286-9676
E-mail jidousya@optic.or.jp